

## 院内環境の整備と防災に取り組んでいます

施設課専門職 鎌田 芳信

### 快適な施設環境作り

今回は、施設課の仕事の中から3つご紹介します。

1つ目は、病院という施設管理の仕事です。

医師は患者さまを診察・治療することが仕事ですが、施設課は、建物を診察・治療することが仕事です。患者さまが快適な環境の中で診察・療養が受けられるよう、また医師・看護師がスムーズに仕事が進められるよう、建物の営繕をはじめ、空調設備・消防設備・電気設備・病院内外の環境・衛生の保全などを図っています。

多くの方が人間ドックを定期的に受けられていることと思いますが、病院の建物・設備も定期的な保守点検が必要です。点検結果に基づき修繕を行い、施設の安全管理に努めて



壁を塗り替える施設課職員

おります。

### 「備えあれば憂いなし」年2回の防災訓練

2つ目は、防災についての取り組みです。

昔から自然災害の怖いものの象徴として「地震、雷、火事、



車イスの点検をする施設課職員

台風」といわれ、地震は自然災害の中で最も被害の大きいものとされ、恐ろしいものの筆頭にあげられてきました。

当院では、この4月に消防計画を全面的に見直し、その中に「震度6強」の災害想定を盛り込み、大規模地震が発生した場合の人的、物的被害を最小限に止めるための行動計画を定めました。この計画に基づき、本年も2回の防災訓練を実施し、初期消火、避難誘導、応急救護等、実戦さながらの訓練をし、職員の防災技術のさらなる向上に努めます。

### ストップ・ザ・温暖化

3つ目は、今、国内外における最優先課題の一つとなっている地球温暖化問題の解決に向けた取り組みです。

地球温暖化がこのまま進行すると、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の予測によると、100年後には、気温が1.5℃～5.8℃、海面が9～88cmそれぞれ上昇するとされております。地球温暖化の影響としては、異常気象の増加、陸地の減少、生態系への影響、マラリヤ・デング熱等感染症の増加が考えられ、まさに地球の危機に直面することになります。

当院では、事業所の責任として二酸化炭素の排出量を減らすため、これまで、患者さまの療養環境に与える影響の少ない範囲で、エアコンの稼働時間の調整や夜間のエレベータ運転台数削減等、さまざまな省エネ対策を実施してきました。22年度以降は、国、都の方針によりさらなる省エネに取り組まなくてはなりませんので、病院利用者の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。



エコ・プラントも二酸化炭素の削減に役立っています。

行き届かない点もあるかと思いますが、当院を利用して、施設面でお気づきの点がありましたら、施設課までご連絡ください。